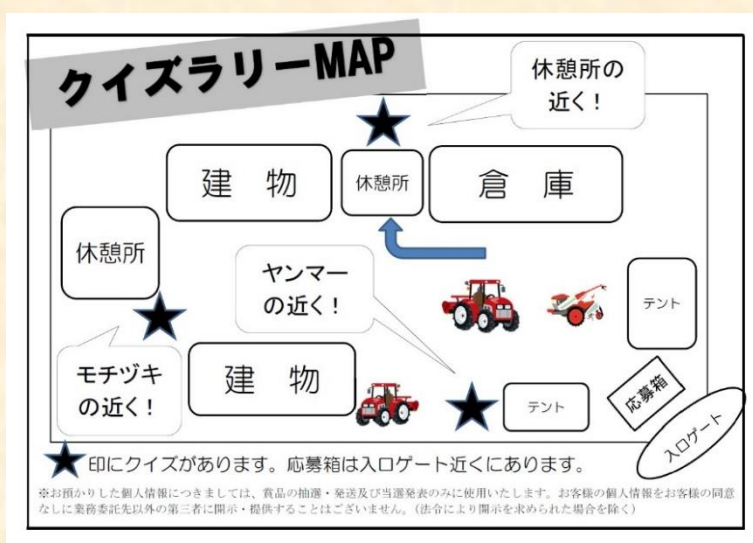


2024 年 7 月 30 日

ダイナミックフェア 2024 「クイズラリー」 当選者決定！

ダイナミックフェアの会場では「皆様に会場を一回りして色々を見てほしい！」という思いを込めて、恒例の「クイズラリー」を開催しました。

ダイナミックフェア会場の中に 3 ヶ所クイズが設置されており、クイズラリー台紙裏面の地図をヒントに、参加者の皆様にはクイズを探して答えていただきました。



【ヒントの地図】

今回も多くの方々にご参加いただき、2日間合計447通の応募がありました！

その後、7月26日（金）に鴨川県本部長による抽選会を行いました。

厳正な抽選の結果、20名様の当選者を決定しました！



【抽選中の鴨川県本部長、運命の瞬間・・・！】

当選された20名様には、近日中に賞品をお送りします。

当選者の皆様、おめでとうございます！

今回のクイズラリーでは、3つの〇×クイズを出題しました。

以下がそのクイズです。

- Q 1. 食材を必要な分だけ買うことは「食品ロスを減らすこと」につながる。〇か×か。
- Q 2. レジ袋を利用せずにエコバックを活用することで「プラスチックごみの削減」につながる。〇か×か。
- Q 3. 日本の食料自給率は50%以下であるか。〇か×か。

クイズラリーの答えは以下の通りです。

Q 1 の答え

「食品ロス」とは、「まだ食べられるのに廃棄される食品」のことです。必要以上に作ったり、捨てたりすると、焼却するために余分な二酸化炭素を発生させ、地球温暖化を引き起こす一因になります。

日本では、本来まだ食べられるのに廃棄されている食品は、2016年度で643万トンでした。「食品ロス」は、食品メーカーやスーパーで発生していると思いますが、食品ロスの半分は家庭から発生しています。

【家庭からの食品ロスの要因】

「食べ残し」…料理を作りすぎている

「過剰除去」…野菜の皮や茎など食べられるところまで切って捨ててしまう

「直接廃棄」…未開封のまま食べずに捨ててしまう

家庭で食品ロスを減らすためには、買い物時は「必要な分だけ買う」、料理の際は「食べきれる量を作る」、食事の際は「美味しく食べきる」ことが基本です。

一人一人が意識・工夫をするだけで、食品ロスを減らすことができます。

答えは○です！

Q 2 の答え

「プラスチックごみ」とは、プラスチック製品・容器包装などの使用后、廃棄されたごみのことです。プラスチックは自然界で分解されにくく、環境問題となっています。日本で1年間に捨てられるプラスチックごみは約940万トンです。そのうち約半分が、レジ袋や食品トレイ、ストローなど、一度利用されただけで捨てられてしまうことが多い「容器包装」で使われているものです。そのため、プラスチックごみを減へらしていくためには、包装で使われるプラスチックを減らしていくことは大きな効果が見込まれます。そのため、考え方の基本となるのが、「3R」です。

【3R】

①リデュース…ごみを減らすこと

(例) ごみになるものを買わない、もらわないという意識を持つことが大切です。マイバックを持ち歩けば、レジ袋を減らすことができます。

②リユース…くりかえし使うこと

(例) 新しいものを買って替えていけば、その分ゴミの量は増えます。使用済みのもので手入れをしたり修理したりして大切に長く使うことも大切です。

③リサイクル…資源として再利用すること

(例) ペットボトルや容器包装プラスチックなどは、資源として再利用できるように、ごみの分別を徹底しましょう。

私たち一人ひとりも、毎日の生活の中で、どうやったらプラスチックの使用量を減らせるのかを考える必要があります。

答えは○です！

Q 3 の答え

令和 4 年度の日本の食料自給率はわずか 38% です。日本の食料自給率は、先進国の中で最低の水準となっています。米の消費量が減少する一方で、畜産物や油脂類の消費が増大する等の食生活の変化により、長期的には低下傾向が続いていましたが、2000 年代に入ってから横ばい傾向で推移しています。食料自給率の目標は、令和 12 年度で 45% に高める目標を掲げています。

答えは○です！

以上、クイズはお楽しみいただけただでしょうか！？

SDGs の目標はそれぞれ、人間と同じように繋がりあっています。

日常の何気ない体験や気づきが、芽生えやきっかけにつながります。

未来のために、わたしたちにできることを考えるきっかけとしてみましよう！

クイズラリー当選者の皆様には、7 月末に賞品を発送させていただく予定です。

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

この度は多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。